

第3次計画の各分野目標及び参考指標に係る進捗状況

【全体目標】

項目	目標
がんで死亡する県民の減少	遅くとも第4次計画期間内(H36～H41)に75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)全国1位

【参考指標】

項目	現状(計画策定時)	平成30年度 報告値	令和元年度 報告値	令和2年度 報告値	目標
75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)	73.1人 (H28) 【全国16位】	70.3人	69.8人	67.1人	58.0人

【分野目標及び参考指標】

(1-1) 生活習慣の改善, 感染症対策等によるがん予防(1次予防)

項目	現状(計画策定時)	平成30年度 報告値	令和元年度 報告値	令和2年度 報告値	目標		
ア たばこ対策の強化							
◎ 禁煙・分煙実施の県・市町の施設の割合	公共機関	98.8%	(H28.12)	99.2%	99.7%	100.0%	100%
	学校	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100%
	病院	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100%
飲食店等における喫煙の可否等の表示の実施率	31.6% (H28年度)	45.6%	—	45.6%	100%		
飲食店における受動喫煙の機会を有する者の割合	32.5% (H28年度)	—	—	—	12%以下		
◎ 喫煙率	成人男性	23.5%	(H29年度)	—	—	—	18%以下
	成人女性	5.8%		—	—	—	5%以下
イ 感染症対策の強化							
◎ 肝炎ウイルス検査受検率	39.2% (H27年度)	43.3%	45.4%	47.3%	55%以上 (H33)		
ウ 生活習慣の改善							
1日野菜摂取量	273g (H28年度)	—	—	286g(参考値)	350g以上		
1日平均歩数	20歳～64歳	成人男性	8,200歩	(H29年度)	—	—	9,700歩以上
		成人女性	8,320歩		—	—	8,600歩以上
	65歳以上	成人男性	7,254歩		—	—	7,300歩以上
		成人女性	6,538歩		—	—	6,600歩以上
適正体重を維持している人の割合	肥満	20～69歳 男性	32.2%	(H29年度)	—	—	26%以下
		40～69歳 女性	14.3%		—	—	11%以下
	やせ	20～29歳 女性	10.9%		—	—	8%以下
多量飲酒者の割合	成人男性	3.7% (H29年度)	—	—	—	3.2%以下	
	成人女性	1.4% (H29年度)	—	—	—	0.2%以下	
アルコール健康障害普及啓発事業実施市町数	18市町 (H28年度)	19市町	全23市町	全23市町	全市町		

(1-2) がんの早期発見, がん検診(2次予防)

項目		現状(計画策定時)	平成30年度 報告値	令和元年度 報告値	令和2年度 報告値	目標	
ア 科学的根拠に基づくがん検診の実施							
市町における, 科学的根拠に基づくがん検診の実施		全23市町 (H29年度)	全23市町	全23市町	全23市町	全市町で継続実施	
イ がん検診の質(精度管理)の向上							
◎ 市町検診の精密検査受診率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	75.8%	(H26年度)	76.8%	77.1%	90%以上 (H33)	
	肺	70.0%		67.8%	72.6%		
	大腸	66.4%		69.7%	68.3%		
	子宮	72.5%		74.4%	73.1%		
	乳	82.6%		86.7%	86.6%		
◎ 市町検診の精密検査未把握率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	18.9%	(H26年度)	18.6%	16.5%	5%以下 (H33)	
	肺	24.2%		28.6%	23.7%		
	大腸	24.1%		19.9%	19.9%		
	子宮	24.3%		21.8%	23.2%		
	乳	15.2%		11.2%	11.0%		
国報告書による事業評価項目を8割以上 実施の市町数	胃	9市町	(H28年度)	9市町	14市町	全市町	
	肺	11市町		9市町	13市町		
	大腸	10市町		10市町	12市町		
	子宮	11市町		9市町	14市町		
	乳	10市町		11市町	13市町		
ウ がん検診の受診率向上							
◎ がん検診受診率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんは20歳～69歳, 胃がんは50歳～69歳〕	胃	40.5%	(H28)	—	—	50%以上 (H34)	
	肺	42.1%		—	—		
	大腸	38.8%		—	—		
	子宮	40.2%		—	—		
	乳	40.3%		—	—		
◎ 市町実施のがん検診受診者数 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんは20歳～69歳, 胃がんは50歳～69歳〕	胃	53,899人	(H28年度)	55,410人 (0.3割増)	47,102人 (1.2割減)	50,685人 (0.6割減)	5割増
	肺	78,402人		75,151人 (0.4割減)	73,900人 (0.6割減)	69,854人 (1.1割減)	4割増
	大腸	86,942人		81,019人 (0.7割減)	80,184人 (0.8割減)	75,056人 (1.4割減)	5割増 (H34年度)
	子宮	151,278人		143,431人 (0.5割減)	137,949人 (0.9割減)	131,386人 (1.3割減)	3割増
	乳	89,612人		83,120人 (0.7割減)	79,250人 (1.2割減)	77,198人 (1.4割減)	3割増
「広島県がんよろず相談医」による受診勧奨を実施する市町数		2市町 (H29年度)	3市町	2市町	2市町	全市町	

(2) がん医療

項目	現状(計画策定時)	平成30年度 報告値	令和元年度 報告値	令和2年度 報告値	目標	
ア 医療提供体制の充実強化						
◎ 拠点病院の機能強化と医療連携の充実による、がん医療の均てん化の推進	全7医療圏に拠点病院整備 (国指定11, 県指定5) (H29年度)	—	全7医療圏に拠点病院整備 (国指定11, 県指定4)	全7医療圏に拠点病院整備 (国指定12, 県指定3)	全7医療圏に 拠点病院整備	
がんゲノム医療の拠点整備	なし (H29年度)	3施設	6施設	6施設	現状より増	
◎ 希少がんの医療提供体制の拠点化の推進	現状把握が不十分 (H29年度)	—	—	—	拠点化の推進及び 県民への情報提供 の充実	
膵臓がんの早期発見患者の割合	7.3% (H24年)	—	11.0%	12.2%	現状より増(H34)	
◎ 小児がんの医療提供体制の拠点化の推進	広島大学病院等を 中心に一定の集積 (H29年度)	—	広島大学病院等を 中心に一定の集積	広島大学病院等を 中心に一定の集積	集約化の推進と 連携強化	
生殖機能温存治療を受けた患者数	26人 (県立広島病院) (H28年度)	25人 (県立広島病院)	28人 (県助成事業実績)	18人 (県助成事業実績)	現状より増	
イ 医療内容等の充実						
◎ がん治療の各分野 の人材育成と適正 配置等	拠点病院の「放射線治療専門医」数 (HIPRAC含む)	計24人	計27人	計26人	—	10人増
	拠点病院の「医学物理士」の配置 (HIPRAC含む)	8/17拠点病院等	9/17拠点病院等	9/16拠点病院等	9/16拠点病院等	全拠点病院等
	拠点病院の「がん放射線療法看護 認定看護師」の配置(HIPRAC含む)	8/17拠点病院等	8/17拠点病院等	8/16拠点病院等	8/16拠点病院等	全拠点病院等
	拠点病院の「がん薬物療法専門 医」の配置	10/16拠点病院	(H28.9) 10/16拠点病院	13/15拠点病院	14/15拠点病院等	全拠点病院
	拠点病院の「がん薬物療法認定薬 剤師」の配置	13/16拠点病院	12/16拠点病院	11/15拠点病院	12/15拠点病院等	全拠点病院
	拠点病院の「がん化学療法看護認 定看護師」の配置	15/16拠点病院	13/16拠点病院	13/15拠点病院	12/15拠点病院等	全拠点病院
	各圏域の拠点病院の病理専門医 (常勤)の配置	13/16拠点病院	12/16拠点病院	13/15拠点病院	14/15拠点病院等	全拠点病院
拠点病院の「薬剤師外来」等の薬物療法の副作用対応 拠点病院におけるがん患者指導管理料3算定件数	3,897件 (H28年度)	4,437件	4,617件	—	現状より増	
拠点病院のリンパ浮腫への対応 (リンパ浮腫複合的治療料算定病院数)	2/16拠点病院 (H28年度)	4/16拠点病院	6/15拠点病院	5/15拠点病院等	全拠点病院	
拠点病院におけるキャンサーボード実施回数	614回(2ヶ月) (H28年度)	2,996回	1,748回	2,085回	現状より増	
周術期口腔機能管理計画策定料を算定する医療機関 数	160施設 (H28年度)	—	—	—	320施設	
拠点病院におけるがん患者リハビリテーション実施件数	114,704件 (H28年度)	—	—	—	現状より増	

(3-1) がんと診断された時からの緩和ケア

項目	現状(計画策定時)	平成30年度 報告値	令和元年度 報告値	令和2年度 報告値	目標	
ア 施設緩和ケアの充実						
緩和ケアチームへの依頼件数が増加した拠点病院数	—	—	7/15拠点施設	8/15拠点病院	全拠点病院	
◎ 苦痛のスクリーニングの実施件数が増加した拠点病院数	—	—	8/15拠点病院	13/15拠点病院	全拠点病院	
緩和ケア評価指標を活用する医療機関数	—	—	—	—	全ての緩和ケア病棟・チームを有する医療機関	
緩和ケアに係る院内評価を行う体制が整備されている拠点病院数	—	—	15/15拠点病院	15/15拠点病院	全拠点病院	
イ 緩和ケアに携わる人材の育成・確保						
◎ 多職種人材育成、緩和ケア医師研修の充実	緩和ケア研修の医師の受講率が90%以上の拠点病院数	3/11拠点病院 (H28年度)	7/11拠点病院	2/11拠点病院	4/11拠点病院	全拠点病院 (国指定)
	緩和ケア研修を受講している拠点病院以外の医師数	病院: 389人 診療所: 361人 (H29年度)	病院: 414人 診療所: 377人	病院: 423人 診療所: 392人	病院: 458人 診療所: 406人	現状より増
	緩和ケア研修を受講している拠点病院の薬剤師、看護師数	—	28人	125人	128人	現状より増
	ELNEC-Jの受講者数	471人 (H28年度)	607人	722人	870人	130人増
	緩和ケア・がん性疼痛看護認定看護師数	81人 (H28年度)	80人	90人	87人	10人増

(3-2) 相談支援, 情報提供

項目	現状(計画策定時)	平成30年度 報告値	令和元年度 報告値	令和2年度 報告値	目標
ア がんに関する情報提供・普及啓発					
◎ 「広島がんネット」のアクセス件数	88,540件 (H28年度)	76,710件	69,823件	59,623件	前年より増
「Team がん対策ひろしま」の登録企業等数	51社 (H29年度)	82社	100社	112社	100社
広報紙により普及啓発を実施している市町数	15市町 (H28年度)	18市町	21市町	20市町	全市町
市町の普及啓発イベント開催回数	121回 (H28年度)	176回	271回	450回	前年より増
◎ 学校保健計画に「がん教育」を位置付けている公立学校数	—	—	—	62.1%	全公立学校
イ がん患者・家族等への相談対応					
◎ 全てのがん患者が相談支援を受けられる体制を整備している拠点病院数	—	4/16拠点病院	5/15拠点病院	6/15拠点病院	全拠点病院
告知を受けたがん患者ががん相談支援センターを利用している割合	21% (H28年度)	22.30%	21.1%	19.70%	前年より増
相談支援センターの院外相談件数	1,824件 (H28年度)	1,709件	1,275件	1,094件	前年より増
相談支援センターの患者サロン参加者数	3,030人 (H28年度)	2,974件	3,196人	2,765人	前年より増
◎ ピア・サポートに対応できる拠点病院数	1/16拠点病院 (H29年度)	9/16拠点病院	11/15拠点病院	12/15拠点病院	全拠点病院
がんサロンを開催しているがん患者団体等の数 (広島がんネットの掲載団体)	10団体 (H28年度)	11団体	13団体	12団体	全患者団体等
がん患者団体等に対する「Team がん対策ひろしま」の登録企業等の支援回数	166回 (H28年度)	171回	403回	238回	前年より増

(3-3) 社会全体で取り組む、がん対策・がん患者支援

項目	現状(計画策定時)	平成30年度 報告値	令和元年度 報告値	令和2年度 報告値	目標
ア 医療連携体制の充実					
拠点病院の地域連携パスの適用延べ患者数	254件	1,588件	1,764件	—	
イ 在宅緩和ケアの充実					
◎ 在宅緩和ケアの提供体制の整備	在宅緩和ケア推進モデル事業の実施 (H29年度)	—	圏域地对協で介護福祉関係者研修の実施及び検討の場を設置	圏域地对協で介護福祉関係者研修の実施及び検討の場を設置	在宅緩和ケアの拠点づくり
がん患者が病院以外の自宅等で死亡する割合	12.2% (H28年度)	12.6%	12.9%	13.0%	現状より増
◎ がん患者に対応できる地域包括支援センター数	—	—	34施設	44施設	全地域包括支援センター
緩和ケア提供体制について検討する場を設けている拠点病院数	—	—	5/15拠点病院	7/15拠点病院	全拠点病院
地域緩和ケア連携調整員を配置している拠点病院数	—	—	3/15拠点病院	8/15拠点病院	全拠点病院
緩和ケア事例検討会等を定期的に開催している拠点病院数	—	—	7/15拠点病院	8/15拠点病院	全拠点病院
在宅緩和ケア充実診療所加算届出施設数	8施設 (H29年度)	9施設	10施設	12施設	現状より増

(3-4) がん患者等の就労を含めた社会的な問題

項目	現状(計画策定時)	平成30年度 報告値	令和元年度 報告値	令和2年度 報告値	目標
ア 治療と仕事の両立支援					
ハローワークや社会保険労務士等との就労支援の連携体制を構築している拠点病院数	4/16拠点病院 (H29年度)	14/16拠点病院	14/15拠点病院	15/15拠点病院	全拠点病院
◎ 拠点病院の両立支援コーディネーター養成研修の受講者数	6人 (H29年度)	22人	25人	35人	32人
療養・就労両立支援指導料の算定件数	—	—	2件	9件	現状より増
療養・就労両立支援相談体制充実加算を算定している拠点病院数	—	—	1/15拠点病院	5/15拠点病院	現状より増
◎ 「Team がん対策ひろしま」の登録企業等数【再掲】	51社 (H29年度)	82社	100社	112社	100社
就労支援体制の診断指標を活用する企業等数	—	—	—	—	現状より増

(3-5) ライフステージに応じたがん対策

項目	現状(計画策定時)	平成30年度 報告値	令和元年度 報告値	令和2年度 報告値	目標
ア 小児・AYA世代への支援					
◎ 生殖機能温存治療を受けた患者数【再掲】	26人 (県立広島病院) (H28年度)	25人 (県立広島病院)	28人 (県助成実績)	18人 (県助成実績)	現状より増
◎ 拠点病院の両立支援コーディネーター養成研修の受講者数【再掲】	4人 (H29年度)	22人	25人	35人	32人
イ 高齢者への支援					
◎ がん患者に対応できる地域包括支援センター数【再掲】	—	—	34施設	44施設	全地域包括支援センター